

# 登山・アウトドア保険の最新ガイド

## 1. 【軽登山・レジャー型】ハイキングやキャンプ向け

一般的なハイキングやキャンプ、整備された登山道での活動がメインの方に適しています。

- **特徴:**
  - 遭難時の「救援者費用」が主目的。
  - 日常生活でのケガや他者への賠償責任もカバーされることが多い。
  - アイゼンやピッケルを使用する「本格的な雪山登山」は補償対象外となるケースがほとんど。
- **主なサービス:**
  - **モンベル「野あそび保険」:** 1泊2日から低価格で加入可能  
特徴: 本格的な「山岳保険」から、ハイキング用の「野あそび保険」まで幅広くラインナップされています。 <https://hoken.montbell.jp/>
  - **YAMAP「外あそびレジャー保険」:** アプリから手軽に加入でき、遭難救助に特化。  
<https://yamap.com/insurance>
  - **ドコモ「スポーツ・レジャー保険」:** 携帯料金と一緒に支払え、1日から対応。  
<https://www.docomo.ne.jp/service/insurance/one-day-insurance/>

## 2. 【山岳登攀(とうはん)型】本格的な雪山・岩登り向け

ピッケル、アイゼン、ザイル等の特殊な器具を使用する登山を行う場合に必須となるタイプです。

- **特徴:**
  - 「山岳登攀行程中」の事故を明確にカバー。
  - 一般的なレジャー保険では免責(支払い対象外)となるリスクに対応。
  - 保険料はやや高めですが、本格的な登山者には不可欠。
- **主なサービス:**
  - **モンベル「山岳保険」:** 年間契約が基本で、本格的な雪山まで網羅。  
<https://hoken.montbell.jp/>
  - **JRO(日本山岳救助機構):** 保険ではなく「会員制の救助費用補填制度」。  
事後分担金方式で安価に救助費用をカバーできるのが特徴。  
<https://www.jro.gr.jp/>

### 3. 【単発(ワнтаイム)型】たまにしか行かない方向け

年に数回しか山に行かない場合、その都度加入するタイプが経済的です。

- **特徴:**
  - 200円～1,000円程度の掛け捨てで、出発直前でもスマホから加入可能。
  - 「明日の天気を見てから決める」といった柔軟なスタイルに最適。
- **主なサービス:**
  - **やまきふ共済会(ワнтаイム保険・年プラン)**  
特徴:1日単位の「ワнтаイム」から年間契約まであり、保険金の一部が山岳環境保全に寄付される仕組みです。  
<https://www.yamakifu.or.jp/>
  - **ABC 少額短期保険(レスキュー費用保険)**  
特徴:遭難時の「救助費用」に特化したシンプルな設計が特徴です。  
<https://www.abc-hoken.co.jp/mountain/>